

2020年12月号

宇治山田 商業図書館 だより



○冬休み前貸出が始まっています。
今借りると、始業式1月7日まで借りることができます。

●12月24日～1月6日の冬休み期間中は、休館します。冬休み前にたくさん借りて下さいね！



冬休み前貸出 始まっています！

冬休み前特別貸出期間として、今借りた本は始業式（1月7日）まで借りることができます。冊数は無制限！！この機会に何か読みたいと思っていた本や、休みに作ってみたいレシピ本などを借りてみてはいかがでしょうか。（コミック、雑誌はいつも通り5冊一週間です）

図書委員企画を予定しています！

3学期の企画として、古本を集め寄付する企画を考えています。本のジャンルは問いません。絵本やコミックもOK。ただし雑誌は不可です。年末大掃除でいらなくなった本は、捨てずにとっておいてください！たくさん集めて贈りたいと思いますので、ぜひご協力ください。古本の回収は、1月18日（月）～22日（金）を予定しています。また、詳しい内容については後日、図書委員から連絡をします。

返却期限の過ぎている本はありませんか？

借りている本の中で、返却期限の過ぎている本はありませんか？図書館の本は、みんなの物です。次に読みたい人が困るので、必ず期限を守ってください。図書館からの督促状が届いた人は、早急に返却してください。借りていない・返したはずの本で督促状が届いた人も手続きが必要です。必ず図書館に申し出てください。みんなが気持ちよく利用できるよう、一人ひとりがきちんとルールを守りましょう。

☆裏面は、先生方からの「人生に影響を与えた本」の紹介です。

ぜひどうぞ。

新着本のご案内

小説

- 「きのうのオレンジ」藤岡陽子
- 「ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人」東野圭吾
- 「オルタネート」加藤シゲアキ
- 「52 ヘルツのクジラたち」町田そのこ
- 「どうしてわたしはあの子じゃないの」寺地はるな
- 「銀の夜」角田光代

知識情報

- 「哲学人生問答」岸見一郎
- 「とろけるお菓子」木村幸子
- 「FACTFULNESS」ハンス・ロスリング
- 「こどもホスピスの奇跡」石井光太
- 「スマホ脳」アンデシュ・ハンセン
- 「サッカーの新しい教科書」坪井健太郎

就職・進学・進路

- 「全国大学小論文入試」旺文社編
- 「コンサイス カタカナ語辞典 第5版」三省堂編集所
- 「スピーキング・ライティング王道フレーズ 50」旺文社
- 「グローバル・タックス」諸富徹

コミック・ラノベ

- 「この素晴らしい世界に祝福を！よりみち2回目！」暁なつめ
- 「ゆきうさぎのお品書き」12巻 小湊悠貴
- 「弱虫ペダル」70巻 渡辺航
- 「文豪ストレイドッグス」20巻 朝霧カフカ
- 「鬼滅の刃」23巻 吾峠呼世晴
- 「神様たちのお伊勢参り」8巻 竹村優希
- 「ダイヤのA」act2 24巻 寺嶋裕二

本校生徒のご家族の皆さまへ…山商図書館の本は、生徒を通じて借りることができます。ぜひご利用下さい。



☆☆☆先生が紹介する「人生に影響を与えた本」☆☆☆



玉井先生に影響を与えた本

『太陽の子』 灰谷健次郎 著 理論社

高校の頃だったかに読んで、ずっと心の奥底にある本がある。それは灰谷健次郎さんが書かれた『太陽の子』。戦争を背負って生きる沖縄出身の家族を描いた児童文学であるが、ひととしての生き様の根底に向けられた問いかけに、私は未だに答えが出せていない気がする。特に、修学旅行で沖縄を訪れる前に手にしてほしい一冊だ。沖縄はやはり、特別な場所。自然に触れる観光だけでなく、そこに暮らす人々の思いに少しでも寄り添えるような旅となるように。

長岡先生に影響を与えた本

『ほしをめざして』 ピーター・レイノルズ 文 のざかえつこ訳 岩崎書店

私がこの絵本に出会ったのは大学生の時。縁あって参加した、この本の訳を書いた野坂悦子さんの食事会で、ご本人が読んで下さいました。その時、この本の主人公である少年が、人生をどう歩いていこうか悩んでいた高校生の頃の自分と重なり、これまで、自分が迷いながら選択し、一歩ずつ進んできたことは決して間違っていなかったんだと自信を持つことが出来ました。

これから自分の人生を歩いていく君たちにぜひ読んでもらいたいです。

野間先生に影響を与えた本

『チャート式 解法と演習 数学Ⅰ+A』 チャート研究所編著 数研出版

高校1年生のときに、出会った問題集です。私は比較的理系科目が得意だと思っていたので、理系に進みたいという気持ちを漠然と持っていました。担任の先生が数学の先生だったこともあり、たくさん教えてもらいました。本当に長い時間、親身に教えていただき、感謝しきれません。また、友達と休み時間や放課後に一緒に勉強した思い出や、友達が書いてくれた落書きも残っています。カバーが破れて、角も丸くなってしまった本ですが、たくさんの思い出が詰まっています。

おすすめは、公式の書いてあるページをめくった、見開きページです。「えらい人」という話で、勉強に疲れた時に気持ちの切り替えができました。数ⅡBと数ⅢCのチャートからは「スー先生」という先生が急に出てきます(今は変わっているかも)。よかったら見てみて下さい。

守屋先生に影響を与えた本

『窓際のトットちゃん』 黒柳徹子 著 講談社

皆TV「徹子の部屋」でおなじみの、黒柳徹子さんの自叙伝です。かなり昔に出版された本で、私は子どもの頃に読んだのですが、内容はよく覚えています。小学1年生で退学になったトットちゃん、転校先の電車の教室、半日ずっと話を聞いてくれる校長先生。「普通」では考えられないような、魅力的な世界がそこには詰まっていました。

「海のもの」と「山のもの」は、今でもご飯のおかずを考えるとちょっとだけ意識しています。

山本真嗣先生に影響を与えた本

『君のためならがんばれる』(サッカーに命を燃やした諒平と仲間たち、魂の絆) 清水久美子著
日本文芸社

高校生の時に読み、周りに支えられて生きていることや周りのために何ができるかを考えさせられた1冊です。本を読むことが嫌いだった自分がすらすら読めたのも印象的でした。

高校のサッカー部で頑張っていた選手の実話で2015年に24時間テレビでドラマにもなった話です。この本から学んだことは、高校時代の部活や今現在働いているときにも生きていると思っています。何かを一生懸命頑張る人、頑張ろうと思っている人に読んでいただき自分にとって「本当に大切なこと」を見つけてほしいと思います。